

D - D剤 テロン	取扱メーカー： サンケイ＊、ダウ、琉産 原体メーカー： ダウ
成分： 1,3-ジクロロプロペン〔PRTR・1種〕……………97.0%	性状： 淡黄色澄明液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- D-D剤の97％品。従って、使用薬量が少なくて効果があり省力的。
- ネコブセンチュウばかりでなく防除のしにくいネグサレセンチュウやシストセンチュウにも効果がある。また、コガネムシ類の幼虫にも効果がある。
- 低温時処理でも効果がある。
- ばれいしょの青枯病、そうか病にも有効である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 成分濃度が高いため、10 a 当りの薬量を15～20 l とする（1穴当り1.5～2.0 ml）。
- 処理前に前作物の古根はできるだけ除去する。
- 耕起、整地は丁寧に行い、土をできるだけ細かく砕き、均平にする。処理後は覆土、鎮圧する。
- 作付の3～4日前に畑を耕起し、十分ガス抜きをする。
- 処理後大雨があったり、土壌が重粘土質で通気の悪い所では、特にガス抜きを念入りに行う。
- 温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい延長する。
- 処理後未消毒の土が混入しないようにする。ハウス内で使用する場合は、ガス抜き時両サイドを開放し、空気の流れをよくする。

【薬効・薬害等の注意】……………

- ばれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意する。
- 生育中の作物には薬害を生じるおそれがあるので使用しない。「薬害注意事項解説」参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 使用時にガスを多量に吸入しないように風向きなどを考慮して作業する。特に住宅付近での使用には注意する。
- 衣服などに付いた場合は直ちに洗濯し、臭気が抜けるまで身につけない。
- 直接皮膚につき、そのまま放置すると炎症を起こすことがあるので、直接触れた場合には直ちに石けんで良く洗い落とす。
- 万一眼に入った場合には、直ちに、流水で洗眼する。
- 作業中及び処理中の圃場へ小児など作業に関係のないものや、家畜などが立ち入らないように注意する。
- 投薬作業の際は吸収缶（活性炭入り）付き、防護マスクを着用する。
- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。



【適用と使用方法】

作物名	適用病害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤及び D-D 剤を含む 農業の総使用回数	使用方法
ブ ロ ッ コ リ ー カ リ フ ラ ワ ー	テンサイシストセンチュウ	20 ℓ (1 穴当り 2 ml)			全面処理 耕起整地後、縦横30cm 間隔の基盤の目に切り千 鳥状に深さ15～20cm に所定量の薬液を注入 し直ちに覆土鎮圧する。
は く さ い ほ う れ ん そ う キ ャ ベ ツ					
レ タ ス 非 結 球 レ タ ス 非結球あぶらな科葉菜類 せり科葉菜類 き ゆ う り す い か ご い ち ゴ さ や い ん げ ん ト マ ト ミ ニ ト マ ト だ い こ ん は つか だ い こ ん に ん じ ん か て ん さ ぶ い メ ロ ン こ ん に や く ご ぼ と い も か ぼ ち や な ー マ ス ピ ー マ ス と う が ら し 類 ま く わ う り ま ら っ か せ い し ょ う が や ま の い も み よ う が (花 穂) み よ う が (茎 葉) に し そ バ ジ ル う ど 薬 用 に ん じ ん 食 用 き く し そ (花 穂) オ ク ラ に が う り も り あ ざ み ら っ き よ う つ る む ら さ き み し ま さい こ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)	作付の 10 ～ 15 日前まで	1 回	1) 全面処理 耕起整地後、縦横30cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ15 ～ 20 cmに所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30cm間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。

作物名	適用病害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤及び D-D 剤を含む 農薬の総使用回数	使用方法
ね ぎ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)	作付の 10 ～ 15 日前まで	1 回	1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30 cm 間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。
	ネダニ類	20 ℓ (1 穴当り 2 ml)			全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り千 鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注入 し直ちに覆土鎮圧する。
う り 類 (漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30 cm 間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。
だ い ず え だ ま め	ダイズシストセンチュウ	20 ℓ (1 穴当り 2 ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30 cm 間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。
豆 類 (未成熟、但し、えだまめ、 さやいんげんを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30 cm 間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。
ば れ い し よ	ジャガイモシストセンチュウ	30 ～ 40 ℓ (1 穴当り 3 ～ 4 ml)			全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土し、ポリ エチレン、ビニール等 で被覆する。
	青枯病 そうか病				全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し、直ちに覆土鎮圧 する。
	ジャガイモシロシストセンチュウ	40 ℓ (1 穴当り 4 ml)			全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し、直ちに覆土鎮圧 する。

作物名	適用病害虫名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤及び D-D 剤を含 む農薬の総使用回数	使用方法
か ん し ょ	ネコブセンチュウ	15 ～ 30 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 3 ml)	作付の 10 ～ 15 日前まで	1 回	1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30 cm 間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。
	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)			
茶	ネコブセンチュウ	20 ℓ (1 穴当り 2 ml)			全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し、直ちに覆土鎮圧 する。
花き類・観葉植物 (きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)			1) 全面処理 耕起整地後、縦横 30 cm 間隔の基盤の目に切り 千鳥状に深さ 15 ～ 20 cm に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧す る。 2) 作条処理 は種又は植付前にあら かじめ予定された溝に 30 cm 間隔に所定量の薬 液を注入し直ちに覆土 鎮圧する。
き く	ネグサレセンチュウ	15 ～ 40 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 4 ml)	植付の 10 ～ 15 日前まで		
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫				
樹 木 類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15 ～ 20 ℓ (1 穴当り 1.5 ～ 2 ml)	作付の 10 ～ 15 日前まで		
す ぎ (は種床) す ぎ (床替床) ひ の き (は種床) ひ の き (床替床)	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫				
た ば こ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 ℓ (1 穴当り 2 ml)	作付の 30 日前 まで		1) 全面処理 耕起整地後、30 cm × 30 cm 間隔で地表面から深 さ 15 cm に所定量の薬液 を注入し、直ちに注入 口をふさぎ、鎮圧する。
		4 ～ 6 ℓ (1 穴当り 1.3 ～ 2 ml)	作付の 30 ～ 45 日前まで		2) 畦内処理 植付前、畦立・畦面被 覆後に、植付予定位置 の深さ 15 ～ 20 cm に所 定量の薬液を注入し、 直ちに覆土鎮圧する。 但し、ガス抜きは行わ ないこと。